



由美 みわ よしみ

日本共産党千葉県議会議員
(松戸市)

2017年 夏季号 県議会報告

(事務所)

270-2252 松戸市千駄堀 1810-2

電話 047 (349) 1544

http://www.miwa-3838.jp/



本会議で討論する みわ由美議員

憲法9条の改悪ゆるさず 平和の願いに応える政治を

憲法記念日の5月3日に安倍首相は9条に自衛隊を明記すると表明しました。年内には自民党の「改憲案」をまとめるとしています。日本共産党は9条「改憲」の動きが加速しているも、平和憲法を守り、県民の声を生きる政治の実現をめざします。

安倍首相の「改憲」発言

「自民党総裁の考え」と容認する知事

「憲法は最高法規、尊重し遵守することは当然」と答弁していた知事。日本共産党は、6月県議

法の平和原則が破壊されてしまいます。

会で「9条への自衛隊の明記で、第2項(戦力不保持、国の交戦権否定)は無きに等しくなり、自衛隊は文字通り戦力になる」と、認識を質しました。ところが知事は「(首相発言は)自民党総裁としての考えを示したものと容認しました。しかしアメ

り力の始める戦争に参加する集団的自衛権行使に踏み出した自衛隊の存在を9条に書き込めば、憲法は、憲法9条によって憲法の尊重・擁護の義務を負っており、このような「改憲」発言も、それを容認することも許されません。

特定秘密保護法、集団的自衛権行使を認める「閣議決定」、安保法制Ⅱ戦争法、共謀罪の強行など憲法を踏みにじり、「戦争する国」づくりの危険な道突き進む安倍暴走に、地方政治から待ったをかけようと、日本共産党は「憲法改定反対、

憲法擁護義務の厳守」「組織犯罪処罰法(共謀罪)の廃止」「核兵器禁止条約の実現」を求める意見書を提出しました。

憲法改定反対 共謀罪廃止 核兵器禁止条約 国への意見書案を自民、公明などが否決

これを自民、公明などが反対し、多数の力で否決。平和と人権に背を向けました。

決。平和と人権に背を向けました。

安倍首相の9条改憲に関する発言のポイント

- 9条1項、2項を残しつつ、自衛隊を明文で書き込む
- 2020年を、新しい憲法が施行される年にしたい

世界が大きく動いた 国連会議で核兵器禁止条約採択

7月7日、「国連会議」で人類史上初めて核兵器を違法化する核兵器禁止条約が加盟国約3分の2(122か国)の賛成で採択されました。同条約は、核兵器の「開発、実験、生産、製造、取得、保有、貯蔵、移転」「使用」「威嚇」などを禁止しています。

広島・長崎の被爆者を先頭にした日本の原水爆禁止運動と国際社会の英知が実を結んだ歴史的な条約です。核兵器廃絶の実現へ、さらに世論をひろげましょう。

署名拒否 被爆国政府の姿勢に怒りと失望が渦巻く

「日本が署名することはない」(国連大使)と、条約を敵視する日本政府に、内外から大きな怒りと失望の声が寄せられています。被爆国民の悲願を実現するために、条約に参加する政府が求められています。

みわ由美県議と住みよい松戸市をめざします

高橋たえ子 (市議会議員)
うつの史行 (市議会議員)
高木 健 (市議会議員)
山口正子 (市議会議員)
平田きよみ (市議会議員)
わたなべ隆夫 (日本共産党東葛地区委員長、同千葉7区からし相模原市長)
浦野真 (日本共産党松戸・鎌ヶ谷地区青年学生部長)



7/24 松戸駅で

日本共産党

市民と野党の共同を前進させ新しい時代を